

平成  
30年

2月号

February 2018 No.712

広報にしあいつ

# Nishiaizu



MADE IN NISHIAIZU



フワッフワ スイーツ

「車麩ラスク」に込められた思いとは――。

## もくじ Contents

特集 思わずフワッフワと笑みがこぼれるスイーツの舞台裏 P2~

P 10 まちの話題  
豊間小と西会津小の冬季交流事業、新春交歓会、消防出初式、こども園  
かるた大会、西会津中に文部科学大臣表彰 ほが

P 14 町からのお知らせ&ニュース  
申告の準備はお済みですか？、雪国まつり開催告知 ほが



県立西会津高校  
にしこうみりよくはっしんたい  
西高魅力発信隊の皆さん

フフッフ

車麩ラスク  
バターシュガー風味

車麩ラスク  
ほうじ茶風味

どちらも  
大好評です！

道の駅にしあいづ 駅長  
あきお  
鎌倉 明雄さん



思わず、フフッフと笑みがこぼれる、スイーツでできました。

地元の魅力に気付き、自ら考え、新しいものを生み出す

# 西会津高校生が

# 商品開発

皆さんは、「車麩ラスク」を知っていますか？  
これは、西会津高校・西高魅力発信隊の皆さんが町内の事業者とともに商品開発した、町の特産品「車麩」を使ったスイーツです。  
今月号では、この車麩ラスクを生み出した西高魅力発信隊の皆さんと、その関係者に思いを聞きました。

## 西会津高校と西高魅力発信隊

町内唯一の県立高校である西会津高校は、近年の少子化の影響もあり、年々入学者の減少が続いていました。平成24年度には、一時「分校化」の話が持ち上がるなど、本校としての存続が危ぶまれることもありました。

そこで、町では、高校生による新しい取り組みを高校や地域の活性化につなげようと、平成27年度から農商工学連携地域活性化事業（西高魅力発信隊）を開始しました。

この事業は、高校生が地元の良いや町の特産品の魅力を学びながら、地域の事業者と共同で商品開発を目指す活動です。こうした活動を通して、高校生たちの地域への愛着や誇りを醸成するとともに、新しいものを自らの手で生み出すという経験を高校生らの自信につなげ、将来、地域のために力を発揮するような人材の育成を図ることを目的にしています。

## 西高魅力発信隊の活動と成果

西高魅力発信隊の活動は、本年度で3年目。初年度に「フフッフスイーツ」第1弾となる「車麩ラスク・バターシュガー風味」を発表してから、新聞やテレビに幾度となく取り上げられ、平成28年度には「新しい東北」官民連携推進協議会の「新しい東北」復興ビジネスコンテストで「丸紅賞」を受賞し、さらに日本政策金融公庫の高校生ビジネスプラン・グランプリで県内初の人賞を果たすなど、大きな成果を残しています（ビジネスプラングランプリは平成29年度も入賞）。

また、西高魅力発信隊の活動では、車麩ラスクだけでなく、ミネラル野菜を活用した町の魅力を伝える「カレープロジェクト」や、シイタケ、古代米を活用した「西会津のおむすびプロジェクト」など、地域資源を生かしたさまざまな事業のアイデアが生まれています。



アイクラブ  
一般社団法人 i.club  
Managing Director (代表理事)  
ゆう  
小川 悠さん

おがわ・ゆう 横浜出身。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。東日本大震災後に気仙沼市を訪れたことをきっかけに「若者の地域離れ」を実感。2012年にi.clubを立ち上げ(2015年一般社団法人化)、教育と産業創出の掛け合わせから「若者の地域離れ」と「地域産業の衰退」の解決を目指す。西会津町のほか、県内各地、宮城県、茨城県、静岡県、三重県においてもさまざまな「地域の高校生からはじまるイノベーションプロジェクト」を展開。町内では、西高魅力発信隊の活動支援のほか、西会津中学校でのアントレプレナーシップ・スクールの講師や、若者まちづくりプロジェクトの指南役も務める。

# 高校生の活動を舞台裏から支援

この人がいなければ車麩ラスクは生まれていない？ 高校生をサポートしたキーパーソン。

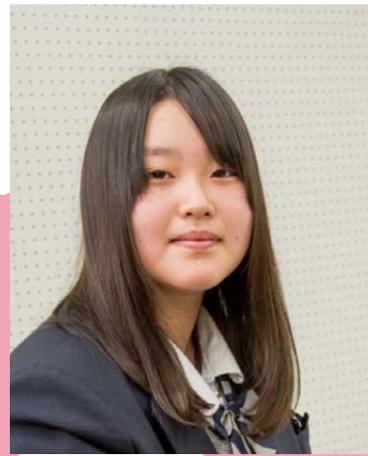
「新しい未来をつくるアイデアを出すこと」、それが私の考えるイノベーションの定義で、私は今、「地域の高校生にイノベーション教育を、地域の大人にイノベーションを」をコンセプトに、高校生による商品開発の支援などを行っていません。高校生が地元の魅力を生かした新商品を開発することで、地域の良さを再発見するとともに、地元の見

方を変えるきっかけになるのではないかと考えています。こうした取り組みには、町や学校、産業の連携が大切です。西高魅力発信隊の場合は、事業開始の段階ですでにそれぞれの皆さんの気持ちが高まっていて、最後のピースとして私にはまったような印象を受けました。地域で良いものをつくりたいという熱い思いを感じ、自分も頑張ら

うと思ったことを覚えています。車麩ラスクは、そうした皆さんの思いが詰まった商品で、それぞれの連携があったからこそ良いものがつくれたのだと感じています。未来をつくるアイデアを考え、カタチにしていくことは、楽しいことばかりではないでしょうし、つらいときもあると思います。でも、そういう中で、仲間と一緒に見つけたワクワクは、きっと将来大きな意味を持ちます。魅力発信隊のみんなには、そういった気持ちを大切にしてほしいなと思っています。

思い描いていた「車麩ラスク」が実際にそこにあることに感動。

もともと絵が好きで、デザインも学べるから、ということでも入部を決めました。最初は西会津町の「いいね探し」から始まり、特産品の車麩を知らない人がいたので、これを使ってみようということになりました。みんなでアイデアを出し合い、試作もし、ラスクにすることに決めました。大変なときもあつたけれど、完成したときには、思い描いていた車麩ラスクが実際そこにあることにとっても感動したのを覚えています。4月からは就職し社会に出ますが、時間を見つけて後輩の活動をサポートできたらと思っています。



西会津高校3年  
西高魅力発信隊 前部長  
なつみ  
渡部 菜摘さん

大事なのは、固定観念を取り除くこと。先入観なしで物事を見る目が養えました。

中学生のときに西会津高校のパンフレットで西高魅力発信隊を知り、入部したいと思いました。活動は、みんなでアイデアを出し合うのが楽しいし、話しながらより良いアイデアにしていく作業が面白いと思います。その中で、大事なものは固定観念を取り除くことだと知りました。いつも新しいアイデアを考えていたので、いつのまにか先入観なしで物事を見る目が養えたような気がします。ちょっとしたアイデアもすぐ浮かぶようになり、自分の意見が言いやすくなりました。



西会津高校2年  
西高魅力発信隊 部長  
れいか  
武藤 怜華さん

高校生の柔軟な発想が「車麩」の概念を大きく変え、新たな価値を生み出した。

車麩

×

アイデア

＝

イノベーション

高校生の

イコール

■ 平成27年度 ■

- 第1回 オリエンテーション (5月28日)
- 第2回 町内農家にミネラル野菜に関するインタビュー (6月15日)
- 第3回 町内菓子店にお菓子作りに関するインタビュー (6月16日)
- 第4回 デザインの基礎の学習 (6月22日)
- 第5・6回 道の駅駅長に特産品に関するインタビュー (7月5日・6日)
- 第7回 丸十製菓本舗に車麩に関するインタビュー (7月17日)
- 第8・9回 商品アイデアの発表、試作 (7月20日・21日)



- 第10・12回 商品アイデアの試作 (7月31日、8月17日・18日)
- 第13回 商品名のデザイン (8月31日)
- 第14回 事業者の商品開発への協力を依頼↓丸十製菓子店 (9月7日)
- 第15回 事業者の商品開発への協力を依頼↓丸十製菓本舗 (9月14日)
- 第16・20回 文化祭展示・発表の準備 (9月25日・30日、10月8日・19日・29日)
- 第21回 文化祭で商品アイデアの試作を展示し、一般観覧者に向けて商品アイデアを発表 (11月1日)
- 第22回 文化祭の振り返りと今後の方針づくり (11月16日)
- 第23・25回 パーカーとチラシのデザイン (12月7日・14日・18日)



西高魅力  
発信隊の  
あしあと

「若者向け」の商品開発は本当にありがたい。  
今まで車麩を口にしたことのなかった人が食べてくれるということは、とてもうれしい。

この先、車麩ラスクが町の名産品として根付いていけばいいなと思っています。



うえの菓子店 上野 敏貴さん

普段のお菓子作りはマラソン。でも、車麩ラスク作りは駅伝。みんなの思いをゴールに運ばなければという使命感があります。

正直、ちゃんとしたお菓子になるか最初は少し不安でした。軽い気持ちで受けてしまったのですが、仕上げるまでには結構苦労しました。お菓子作りは、一人でコツコツ、スポーツで例えるならマラソンのような作業です。でも、車麩ラスクは、高校生が考案し、田崎さんが麩を作って、自分がお菓子に仕上げている。マラソンではなく、駅伝のような感じなんです。田崎さんから受け取ったバトン、そしてみんなの思いを、ゴールに向かって持って行かなければという、使命のようなものを感じています。梓にとらわれず、新しいことにチャレンジすることは大事です。高校生の思いに触れ、初心に返ったような気持ちですね。自分自身、以前より前向きになれた気がします。



(有) 丸十製麩本舗 田崎 充さん

西会津の伝統を引き継ぎたいと思い、麩作りに関わって22年、時代は大きく変わりました。もともと車麩は、雪国の人にとっての、冬の野菜の代用品でした。しかし、今では冬場にも野菜が手に入るし、代用の食べ物も多くなりました。ですから、調理にひと手間掛けなければならぬ車麩は、だんだんと消費量が落ちてきています。そんな車麩を使って、今回、高校生たちが若い人向けに「車麩ラスク」を商品開発してくれたことは、本当にありがたいと思っています。今まで車麩を口にしたことのなかった人が食べてくれるということは、とてもうれしいことです。



# 高校生のアイデアをカタチに

どんなに良いアイデアがあっても、実現を手助けしてくれる仲間がいなければ何も始まりません。高校生のアイデアが、町内の事業者や地域の若者の協力によってカタチに！



①初めての販売会後の記念撮影。大好評ですぐに売り切れてしまいました ②丸十製麩本舗の製麩工場を見学 ③地域の若者と一緒にワークショップ ④若手農業者の渡部佳菜子さんにミネラル野菜について聞きました ⑤車麩の製造工程を見学。手の人物は丸十製麩本舗・田崎充さん ⑥車麩ラスクのチラシとパッケージを手に記念撮影。うえの菓子店の上野敏貴さんと ⑦上野尻在住のグラフィックデザイナー・榎崎萌々恵さん、ウィリアム・シャムさんと一緒にパッケージを作成 ⑧いつもメンバーを陰で支えている地域おこし協力隊の荒海正人さん ⑨出来たての車麩

西高魅力  
発信隊の  
あしあと

第26〜28回 商品発表会に向けた原稿作り

第29回 中間発表会Ⅱ外部の講師者を招いた本番を想定した商品発表会の練習（2月5日）

第30〜33回 商品発表会の発表練習（2月9日・16日・17日・18日）

第34回 商品発表会Ⅱ町長や関係者、メディアなどを招き、車麩ラスク・バターシユガー風味の完成を発表（2月19日）

第35〜36回 先行販売実習Ⅱ音楽イベントの会場や道の駅で商品の販売を実践、計300枚を完売（2月20日・21日）

■平成28年度■

第1回 全校生徒に向けてオリエンテーション（4月22日）

第2・3回 車麩ラスクのお土産パッケージをデザイン（5月12日・16日）

第4回〜14回 アイデア想像プログラム・車麩ラスクの新風味の開発Ⅱユニフォームデザイン、車麩ラスクの食べ方の検討、車麩ラスクの新風味の検討と発案（6月7日）、車麩ラスクの試作（6月14日・21日）、新風味の報告（7月5日）、パッケージジ、原稿作り（7月14日）、車麩ラスクの調理（7月25日）、車麩ラスクのお土産パッケージと新風味の発表練習、発表会（7月26日・27日）、道の駅にしたいぶ・ミネラル野菜の家オープンイベントにて車麩ラスクを販売（8月2日・6日・7日）





**高校生の柔軟な発想が町の未来を照らす**

西会津高校生が地域の若者や事業者と一緒に考え出した「車麩ラスク」。これまでは水で戻すなどの調理をしてから食べていた「車麩」を、手軽に食べられるスイーツに変化させました。「車麩」の固定観念を見事に打ち砕いたのです。

こうした新しい取り組みが評価され、さまざまなメディアに取り上げられたり、コンテストで入賞したりと、西高魅力発信隊は今、全国から注目されています。

高校生の柔軟な発想をもとに、地域みんながアイデアをカタチにしていく。そんなことが続いていけば、町の未来はきっとさらに明るくなります。先輩から受け取ったバトンを手に、今日も地域の新しい未来を考え、頑張っている生徒たちを、みんなで応援しませんか。

フワッフワ

車麩ラスク新風味  
フワッフワの日  
2/22 販売開始!



えうご期待!

絶賛活動中です!

■ 平成29年度 ■

- 表会 (12月13日)
- 第32〜42回 アイデア実践プログラム・フワッフワスイーツ第2弾商品発表会に向けた準備 (12月20日・21日・22日、1月17日・24日、2月6日)、発表原稿の確認と発表の練習、準備 (2月16日・17日・20日)、新風味発表会で「車麩ラスク・ほうじ茶風味」を発表 (2月21日)



「新しい東北」  
復興ビジネス  
コンテスト 2016  
丸紅賞受賞!  
(「新しい東北」官民連携推進協議会)

創造力無限大∞  
高校生ビジネスプラン  
グランプリ  
ベスト100に選出!  
(日本政策金融公庫)



西高魅力発信隊 顧問  
ふみこ  
永井 富美子先生

この活動が、「西高でしかできない活動」として、この先根付いていけばいいなと思います。

いつも、生徒の楽しそうな表情からドキドキとワクワクをもらっています。心配なときもあるけれど、壁を乗り越えていく姿には刺激を受けます。この活動は、教科書にない学びです。勉強も大事ですが、それ以上に大切なものを学べているのではないかと感じています。生徒たちには、やりたいことを楽しく、自信を持ってやってほしいですね。そして、この活動が、「西高でしかできない活動」として、この先、根付いていけばいいなと思っています。

高校生のアイデアから生まれた新たな魅力。西高魅力発信隊の活躍はまだこれから!

特産品 × アイデア // 新たな魅力

カケル  
高校生の  
イコール



- 第17〜25回 アイデア実践プログラム・車麩ラスクの新風味の開発II中間発表に向けた原稿作り (8月31日、9月6日・13日・20日)、ふるさとまつりでの出店の準備と出店 (10月3日・11日・12日・28日・29日・30日)



- 第26〜31回 アイデア創造プログラム・フワッフワスイーツ第2弾IIイントロ・清水屋と交流 (11月8日)、丸十製麩本舗で車麩を学ぶ (11月15日)、清水屋の協力のもと新商品を試作 (11月22日、12月6日)、新商品のまとめ (12月12日)、ミニ発表会 (12月13日)



### 新たな一年の幕開け祝い新春交歓会 新年の一層の飛躍を誓い合う

新春交歓会が1月10日、町公民館で開かれ、町民の皆さんら約200人が参加し新年を祝いました。式では、薄町長が年頭のあいさつで「今年は町を変えるスタートの年にしたい」と抱負を述べた後、武藤町議会議長や来賓の皆さんとともに威勢よく鏡開きを行いました。出席した皆さんは振る舞われた料理などを味わいながら、新年の一層の飛躍を誓い合いました。



### こゆりこども園で小正月行事 上手にできたね「だんごさし」

1月12日、こゆりこども園で豊作や無病息災を願う小正月行事「だんごさし」が行われました。だんごさしに挑戦した年長児と年中児の皆さんは、自分たちで丸めた装飾用の団子を上手に水木の枝に飾り付け、新春の伝統行事を体験しました。頑張った後にはお楽しみ、おやつの時間にきなこをまぶした団子をみんなでおいしくいただきました。



### 起き上がり小法師や風車などの露店が並ぶ 縁起物求め野沢初市にぎわう

野沢初市が1月13日に野沢駅前通りで開かれ、縁起物の起き上がり小法師や風車などを買い求める人のにぎわいました。当日は、午前11時から神事が執り行われた後、関係者が鏡開きを行い今年一年の商売繁盛や商店街の活性化を祈願しました。野沢駅前通りには26の露店が軒を連ね、買い物客を呼び込む威勢のよい声が飛び交いました。



### 高く舞い上がる炎に一年の無病息災を願う 町内各地区で伝統行事「歳の神」

小正月の伝統行事「歳の神」が1月14日から15日にかけて町内各地で行われました。上野尻地区の歳の神では、地域の皆さんが昼間にわらで約5メートルの歳の神を作り、午後6時に厄年の皆さんがお祓いを受けた後、点火しました。参加者は、時折高く燃え上がる炎に歓声を上げながら、餅やすめをあぶり、燃えさかる火に一年の無病息災を祈願していました。



## 雪国を満喫！雪遊びで友情深める

いわき市立豊間小と西会津小の児童が冬季交流で再会



5年生で一番の思い出

1月19日から20日にかけて西会津小と豊間小との冬季交流が行われ、両校の5年生の児童らが夏季交流以来5カ月ぶりに再会しました。児童らは、初日にスノーハイキングやそりすべり、星空観賞などを行ったほか、2日目には雪遊びやスノーモービルを体験し、雪国の冬を思いきり楽しんでいました。

20日に行われた別れの集いでは、豊間小の片寄ひよりさん、大山和紀さん、鍵谷ほのかさん、遠藤楠奈さんが「いわきでは体験できないそりすべりやスノーモービルが楽しかった。5年生で一番の思い出」と感想を発表し、西会津小の齋藤光峰さんが「再会し友情を深められた。これで終わりではなく、これからも交流を続けていきたい」と別れを惜しみました。

晴天に恵まれた今回の交流は、児童の皆さんにとって忘れられない最高の思い出となったようです。



キャリア教育の充実発展に貢献  
西会津中に文部科学大臣表彰

1月12日、西会津中学校の五十嵐正彦校長が町役場を訪れ、キャリア教育に関する文部科学大臣表彰の受賞を薄町長に報告しました。西会津中では平成19年から「アントレプレナーシップ教育」に取り組んでおり、五十嵐校長は「事業開始から10年、着実に成果が見え始めている。今後もしっかりと取り組んでいきたい」と抱負を述べました。



年末年始の事件事故未然防止を呼び掛け  
町内の金融機関などで店頭啓発

年末年始は事件事故が多発傾向にあることから、昨年12月22日、町防犯協会や交通安全協会西会津支部、喜多方警察署などの関係機関が協力し、町内の金融機関やスーパー、コンビニなどの15カ所で事件事故の未然防止を呼びかける店頭啓発を行いました。写真＝会津よつば農業協同組合西会津支店での事件事故未然防止を呼び掛ける薄町長ら



交通安全や防犯活動などに貢献  
喜多方警察署長から感謝状

平成29年に交通安全や防犯活動などの警察業務に貢献した功労者への感謝状贈呈式が昨年の12月28日に喜多方警察署で行われ、町内では次の皆さんに感謝状が贈られました（写真提供＝西会津交番）。

- 団体＝西会津町消防団、西会津町ケーブルテレビ
- 個人＝本間義治さん（西林）、佐藤新一さん（下小島）、齋藤良一さん（6町内）



バレーボールとアルティメットでスポーツを楽しむ  
西会津高で冬季スポーツ大会

昨年12月19日、西会津高で冬季スポーツ大会が開かれました。種目はバレーボールとアルティメット。アルティメットはアメリカンフットボールに似たスポーツで、frisbee状のディスクを相手陣地のエンドゾーン内でキャッチすると得点できます。それぞれに12チームがエントリーし、バレーボールは2年Dチーム、アルティメットは2年Bチームが優勝しました。



今年一年を無火災の年に  
防火・防災に決意新た

1月7日に消防出初式が行われ、参加した町消防団、消防支援隊、女性消防隊、役場消防隊、消防関係者ら総勢約250人が今年一年の防火・防災への決意を新たにしました。

当日は、熊野神社で無火災祈願祭を行った後、野沢中央通りで閲団式を行い、続いて出初式が行われる道の駅までの間を力強く分列行進しました。

出初式では、長谷川克美副団長が「気持ち新たに予防消防に努めていきましょう」と団長訓示を代読した後、薄町長があいさつし、最後に目黒豊子女性消防隊長が無火災への誓いを述べました。

出初式のあとは、無火災祈願餅つき大会が行われ、つきたての餅が会場を訪れた皆さんに振る舞われました。



かるたを通して文字に興味を  
こども園でかるた大会

1月19日、こゆりこども園でかるた大会が開かれました。かるた取りに挑戦したのは2歳児以上の園児たちで、先生が読み札を読み上げると、一生懸命に絵札を探し、元気よくかるたを取っていました。

また、かるた大会に合わせて英語指導助手のローレン先生がオリジナルのかるたを作ってくれたので、園児たちは英語に親しみながらのかるた取りも行いました。

かるた大会は、昔ながらのお正月遊びを園児たちに体験してもらうとともに、かるたを通して文字に興味を持ってもらうことを目的に開催しました。





# 町の申告納税相談の日程は2月9日～3月15日

## 申告の準備はお済みですか？

今年も町・県民税の申告、所得税の確定申告の時期を迎えました。町では、2月9日から町・県民税の申告納税相談を行い、平成29年中（昨年1月から12月まで）の収入などの申告を受け付けます。

申告納税相談は、平成30年度の町・県民税、国民健康保険などの課税の基礎となる重要な手続きです。忘れずに申告しましょう。

### 申告が必要な人

- ① 平成30年1月1日現在で町に住所があり、次のいずれかに該当する場合は申告が必要です。
  - ① 営業、農業などの事業所得があった人
  - ② 家賃、地代などの不動産所得があった人
  - ③ 株式の配当や生命保険の満期による所得があった人
  - ④ 年金収入とそれ以外の複数の収入があった人
  - ⑤ 給与所得者のうち
- ② 給与以外の収入がある人
- ③ 株主収入とそれ以外の複数の収入があった人
- ④ 年金収入とそれ以外の複数の収入があった人
- ⑤ 給与以外の収入がある人

※ 給与以外の収入がある人、除を受ける人

※ 給与以外の収入がある人、除を受ける人

※ 給与以外の収入がある人、除を受ける人

※ 給与以外の収入がある人、除を受ける人

※ 給与以外の収入がある人、除を受ける人

※ 給与以外の収入がある人、除を受ける人

## 申告納税相談日程・会場一覧

月	日	曜日	午前受付	午後受付	会場・受付時間
2	9	金	小綱木・弥生・大舟沢	松峯・真ヶ沢・宮野	奥川みらい交流館 午前受付 9時30分～11時 午後受付 1時～3時
	13	火	杉山・山浦・出戸	道目・中町・梨平	
	14	水	小屋・極入	新町・小山・弥平四郎	
	15	木	塩・中ノ沢	向原・下松	
	16	金	予備日 [奥川地区]		
	19	月	呼賀・井谷・八重窪	小清水・滑沢・滝坂	
	20	火	平明・原	漆窪・新村・樟山	
	21	水	荒木・高目・徳沢	上野尻5・下野尻1・熊沢	
	22	木	上野尻1・柴崎・橋立	上野尻2・下野尻3	
	23	金	端村・白坂・屋敷	上野尻3・上野尻6・楢木平	
	24	土	予備日 [地区指定なし]		
	26	月	上野尻4・下野尻2	宝川	
	27	火	森野	松尾	
	28	水	尾登・程窪・泥浮山	牛尾・山口・軽沢	
3	1	木	小杉山・黒沢	萱本	町公民館 午前受付 8時30分～11時 午後受付 1時～4時
	2	金	縄沢・長桜	西林・青坂・出ヶ原	
	5	月	下小屋・西原・西林東	上小島	
	6	火	3町内・さゆりが丘	下小島	
	7	水	大久保・中野	芝草	
	8	木	7町内・西平・牧	塩喰・安座	
	9	金	芹沼・堀越	4町内・四岐	
	11	日	予備日 [地区指定なし]		
	12	月	5町内・橋屋	1町内・10町内	
	13	火	2町内	9町内1・戸中	
	14	水	9町内2	6町内・8町内	
	15	木	予備日 [地区指定なし]		

1. 各日混雑によりお待たせする場合がございますので、なるべく指定日時での申告にご協力をお願いします。
2. 指定日時以外または予備日に申告される場合は、事前に町民税務課（☎45-2212）にご連絡ください。
3. 午前・午後ともに受付時間内に受け付けを済ませてください。

## 喜多方税務署から

確定申告の受け付けにあたり、喜多方税務署では「申告書作成会場」を税務署2階に開設します。会場では、職員のアドバイスのもと、自分でパソコンを操作し申告書を作成することができます。

- ◆開設期間  
2月16日(金)～3月15日(木)
  - ◆開設時間  
午前9時～午後5時
- ※土曜・日曜、祝日は開設していません。また、申告書作成会場の終了時間は午後5時です。午後4時までのご来場にご協力ください。

〈問い合わせ先〉  
喜多方税務署 ☎0241-24-5050  
音声案内番号「0」番まで

## 申告に必要なもの

必要な書類等がないと、原則として申告相談に就くことができません。忘れずに持参してください。

- ① 印鑑
- ② 事業所得、不動産所得、配当所得、一時所得などの収入金額および経費が分かる書類（帳簿）
- ③ 勤務先から交付された源泉徴収票（給与所得の人）
- ④ 諸控除の証明書や領収書（生命保険・個人年金控除証明書、建物地震・火災保険証明書、国民年金の領収書、医療費の領収書など）
- ⑤ 水利組合費、土地改良費、農機具代などの領収書（農業所得のある人）
- ⑥ 税務署から届いた確定申告書（届いた人のみ）
- ⑦ 通帳および届出印鑑（還付を受ける際に必要です）
- ⑧ マイナンバーカードまたはマイナンバー通知カードおよび本人確認書類（運転免許証など）

## 記帳・帳簿保存

農業を含む個人事業や不動産事業、山林事業などを行うすべての人に、記帳・帳簿書類の保存が必要になります。収入金額や経費を記載した帳簿、受け取った請求書や領収書などを5年から7年の一定期間保存する必要があります。

## 農業所得は収支計算で

農業所得は収支計算で算出してください。申告の際、昨年1年間の収入と経費を確認させてもらいますので、支払った内容や月日が分かる領収書、通帳などの書類を整理

## 確定申告と町・県民税の申告

主な給与以外の収入が20万円以内である場合や、年金収入が400万円以下で確定申告の必要がない場合でも、町民税の申告は必要です。特に年金は、すべての控除が適用されていない場合があります。

## 電子申告「e-TAX」

確定申告書は、税務署や自宅のパソコンから国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」にアクセスして作成することができます。そのま「e-TAX」で送信するか、印刷した申告書を郵送で提出することもできます。

〈問い合わせ先〉  
町民税務課・税務係  
☎45-2212



善意に感謝。大切にに使わせていただきます

## 薄上さんが町勢伸展のためにと町に寄付金



12月28日、平成29年秋の叙勲で旭日単光章を受章した元町選挙管理委員会委員長の薄上幸一さんが町役場を訪れ、町勢伸展のために活用してほしいと薄町長に寄付金を手渡しました。薄上さんは「平成25年の参議院議員通常選挙で投票率が県内でトップになったことなどが評価され、叙勲の受章につながったのだと思います。しかし、この投票率は自分の力だけではなく、関係者、そして有権者の皆さんのおかげです。町の皆さんのために使ってもらえればうれしい」と寄付の理由を話しました。

妊婦と0歳から高校生までの皆さんが対象です

## インフルエンザのワクチン接種費用を助成

町では、妊婦と0歳から高校生までの皆さんを対象に季節性インフルエンザのワクチン接種費用の一部を助成しています。予防接種を受けた人は申請してください。

◆対象者 平成29年11月1日～平成30年1月31日の間にインフルエンザワクチンを接種した妊婦および0歳～高校生の人

◆助成額 医療機関に支払った金額のうち1,000円を超える自己負担分

◆申請方法 町役場健康福祉課・健康支援係に備え付けの申請書に必要事項を記入し、接種費用の領収書原本を添えて提出してください。

◆提出先 町役場健康福祉課・健康支援係、新郷連絡所、奥川みらい交流館

◆申請期限 2月28日(水)

<申請・問い合わせ先>

子育て支援センター ☎ 45-4332



町の広報紙やケーブルテレビなどに対する皆さんの声をお聞かせください

## 広報モニターを募集します

町では、町の広報紙（広報にしあいづ）やケーブルテレビ、ホームページに対する意見や感想、提案などを町に伝える「広報モニター」を募集しています。町の広報活動をより良いものにしていくため、皆さんの声をお聞かせください。

◆広報モニターの役割 町の広報紙の記事やケーブルテレビの番組、ホームページの内容について、意見や感想、提案などをアンケート形式で回答していただきます（アンケートは郵送します）。

◆応募資格 町内に住所を有する16歳以上の人で、国または地方議会の議員並びに国または地方公共団体の職員でない人（ケーブルテレビ加入世帯の人に限りません）。

◆募集人数 10人程度

◆応募期限 2月23日(金) 午後5時

<応募・問い合わせ先>

企画情報課・情報政策係 ☎ 45-4536



冬の夜空を彩る  
スウェーデントーチ作り  
日時：10日午後3時～  
会場：体育館前



今年も私たちがイベント  
を盛り上げます！



べんぎんナッツ



雪上運動会  
日時：11日午前11時～  
会場：多目的広場  
特設ステージ前

雪上花火  
日時：10日午後6時～  
会場：さゆり公園のどこ  
からでも見れます



桐ゲタ飛ばし全国大会  
日時：11日午後1時～  
会場：多目的広場  
特設ステージ前

Let's ジョセササイズ  
日時：11日正午～  
会場：多目的広場  
特設ステージ前



LET'S ENJOY!  
シツク・エンジョイ!

スノーモービル  
ランド西会津  
日時：11日午前10時～  
会場：多目的広場



福島ホープス野球教室  
日時：11日午前10時～  
会場：体育館



グルメも充実！  
至福のスイーツマウンテン

第28回西会津雪国まつりが2月10日、11日の日程で開催されます。今回はメイン会場がさゆり公園の「ふれあい広場」から「多目的広場」に変更となり、会場の雰囲気も一新、例年とは一味違う雪国まつりになること間違いなしです。初日は、福島ゆかりのアーティストやご当地ヒーロー丞神デナーが出演する雪上野外

ライブ「ホワイトステージ」のほか、ワークショップで作られたスウェーデントーチや歳の神、雪上花火が真冬の夜を彩り、幻想的なひとときを演出します。2日目は「オープニングセレモニー」から始まり、「雪上運動会」「レッツジョセササイズ」「桐ゲタ飛ばし全国大会」と恒例イベントが続

き、ファイナーレには西会津産米などが当たる大抽選会「雪上みかん拾い」が行われます。このほか、町内グルメの西会津味噌ラーメンやスイーツに加え、喜多方ラーメンなどの町外のおいしい出店も会場に集結します。雪国・西会津の「たのしい！」がギュッと詰まった西会津雪国まつり。ご家族ご友人お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

ホワイトステージ(10日午後3時～)

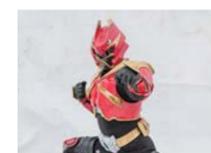
福島ゆかりのアーティストが集合！雪上ステージで熱いライブを繰り広げます。詳細は町ホームページでチェック！



音速ライン



ひとりぼっち秀吉BAND



丞神デナーも出演!

西会津の冬の「たのしい！」がギュッと詰まった2日間  
2月10日(土)、11日(日)は雪国まつり



※詳しくは配布されるチラシをご覧ください。

<問い合わせ先>

町ふるさと振興推進委員会事務局(町役場商工観光課内) ☎ 45-2213

## 町の臨時職員・委託職員を募集します

町では、平成30年度の臨時職員、委託職員の採用候補者試験（面接試験）を実施します。

- ◆業務内容・募集人数 ◎臨時職員＝看護師・1人、事務補助・5人 ◎委託職員＝社会体育指導員・1人
- ◆資格要件 普通自動車運転免許を有し、パソコン操作ができること（看護師は看護師免許を有していること）
- ◆雇用期間 平成30年4月～平成31年3月の間で雇用が必要となった期間
- ◆賃金等 ◎臨時職員＝看護師・日額9,600円、事務補助・日額7,100円 ◎委託職員＝月額150,400円～（臨時職員は社会保険・雇用保険に加入。委託職員は国民健康保

険と国民年金納付分の1/2相当額を月額に加算。また、規定の通勤費を支給）

- ◆勤務地 町役場など
- ◆提出書類 履歴書、運転免許証の写し
- ◆提出期限 2月21日（水）午後5時まで（提出は、平日の午前8時30分～午後5時15分に限りです）
- ◆面接日時 2月23日（金）午前10時～
- ◆面接会場 町役場第一会議室
- ◆選考方法 書類審査および面接試験（合否は受験者全員に通知します）

### <申込・問い合わせ先>

総務課・総務係 ☎45-2211

## お知らせ INFOMATION

ケーブルテレビ  
さゆりチャンネル  
2月の放送案内

### ◆西会津雪国まつり

雪上花火などの模様を生中継します（雪国まつりの日程は16ページをご覧ください）。※毎日の放送スケジュールはテレビの電子番組表などを参考にしてください。

### ◆お問い合わせ先

（二社）西会津ケーブルネット  
☎45-4461

ぜひ  
ご覧ください



## 喜多方税務署から のお知らせ

### ◆確定申告書の作成は国税庁ホームページが便利です

ご自宅のパソコンで国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」から、簡単な操作で確定申告書等の作成を行うことができます。ぜひご利用ください。  
←国税庁ホームページ  
<https://www.nta.go.jp>

※作成した確定申告書等は、e-Taxで送信または印刷して郵送で提出することができます。

### ◆医療費控除の添付書類の簡略化について

平成29年分の申告から、医療費控除の領収書の提出が不要になりました。確定申告の際には、代わりに「医療費控除の明細書」の提出が必要になります。なお、提出は不要になりましたが、領収書は5年間保存する必要があります（税務署から提示を求められた場合は提示または提出しな

ければなりません。<br><問い合わせ先>

喜多方税務署  
☎0241-24-5050

「シエイクアウト  
ふくしま」に参加  
しよう

県では、地震発生時に真っ先に行うべき安全確保行動を学び、身に付ける機会として県下一斉安全確保行動訓練「シエイクアウトふくしま」を実施します。

家庭や学校、職場など、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

### ◆実施日時

2月16日（金）午前11時

### ◆対象者

県内在住、在勤、在学の人  
個人・団体を問わずどなたでも参加できます。

### ◆参加方法

ホームページから参加登録し、それぞれの自宅や学校、職場などで訓練に参加してください。

### ◆参加登録期限

2月15日（木）午後5時

※訓練の詳細などはホームページでご確認ください。  
←シエイクアウトふくしま専用ページ  
<http://www.shakeout.jp/info/fukushima/>

### ◆お問い合わせ先

福島県危機管理課  
☎024-521-8651

## 冬期間の水道利用 について（お願い）

1月に入り、寒波が続いたことで、町内全域で凍結による水道管の破裂が多発しております。配水量が増加していても確認されています。

宅内での漏水は、来春再開されるメーター検針後の高額の水道使用料の負担につながりかねませんので、各家庭でご確認をお願いします。また、自分の家だけでなく、付近の空き家や留守宅、集会

## 火災は早期に発見し、避難することが大切です。 住宅用火災警報器を設置しましょう！

平成28年の火災件数は36,831件でした。これは、1日当たりになると101件で、14分に1件の火災が発生したことになります。

また、住宅火災で885人が亡くなっています。特に、就寝中の火災や、高齢者がいる世帯の場合、逃げ遅れて死亡してしまうケースが非常に多くなっています

住宅用火災警報器は、ホームセンターなどで2,500円程度で購入でき、取り付けも簡単です。喜多方消防本部管内では、昨年、住宅用

火災警報器によって火災を早期に発見することができた奏功事例が2件ありました。

<問い合わせ先> 喜多方消防本部消防課  
☎0241-22-6213



## 有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

<問い合わせ先>

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

## ロータスイン 温泉施設休館の お知らせ

温泉施設の老朽化に伴う改修工事のため、平成30年3月31日まで温泉が利用できません。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、宿泊施設は通常通り営業し、レストランは3月のみ休業します。

### <問い合わせ先>

ロータスイン  
☎45-2900



放課後子ども教室（西小わくわくクラブ）

紙漉きではがき作りにチャレンジ

放課後子ども教室（西小わくわくクラブ）では、放課後や休日の時間を利用して、地域の皆さんと一緒にレクリエーションや工作、野外活動、料理教室などを行っています。12月の活動では、本格的な「紙漉き」を体験しました。



▲木の枠を使い、手漉きのはがき作りを体験！



▲楮の繊維を水に溶かして…



▲削った皮をたたきます



▲ヘラを使って皮を剥ぎます



▲どんな模様にしようかな～



▲板に張り付けて乾かして…、完成！

雪が深々と降る12月17日に行った「紙漉き」のワークショップには、小学生とその保護者、また、児童たちの活動を見守ってくれる安全管理員や活動指導員の皆さんが参加しました。紙漉きを教えてくれたのは、和紙職人で美術家の滝澤徹也さんです。かつて町の冬期間の重要な生業の一つだった「出ヶ原和紙」の再生プロジェクトや、公民館講座などで多くの人に紙漉きを教えました。当日は、まずDVDで出ヶ原和紙について学んだ後、蒸

雪が深々と降る12月17日に行った「紙漉き」のワークショップには、小学生とその保護者、また、児童たちの活動を見守ってくれる安全管理員や活動指導員の皆さんが参加しました。紙漉きを教えてくれたのは、和紙職人で美術家の滝澤徹也さんです。かつて町の冬期間の重要な生業の一つだった「出ヶ原和紙」の再生プロジェクトや、公民館講座などで多くの人に紙漉きを教えました。当日は、まずDVDで出ヶ原和紙について学んだ後、蒸

高血圧を予防して元気な毎日を送るために

今から始めよう！ 血圧管理！



高血圧は自覚症状がほとんどありませんが、放っておくと脳梗塞や心筋梗塞、腎不全など命に関わる重大な病気を引き起こします。血圧が高い状態が続くと、血管の壁が傷つき、固くもろくなつていきます。これを動脈硬化といいます。この動脈硬化が進行することで、命に関わる重大な病気が引き起こされます。元気な毎日を送るために、日頃から血圧を管理しましょう。

家庭での血圧測定のスズメ

高血圧予防には、家庭で血圧を測定して自分の血圧を知ることが大切です。家庭血圧計は薬局やドラッグストアなどで手軽に購入することが出来ます。一家に1台血圧計を置き、毎日測定して記録しましょう！

適切な測定条件

朝と夜、一日2回の測定がおすすめです。朝の測定は起床後1時間以内、排尿後、朝の服薬前、朝

食前、座った姿勢で1〜2分間安静にしてから測定しましょう。夜の測定は就寝前（飲酒や入浴の後）、座った姿勢で1〜2分間安静にしてから測定しましょう。

ワンポイントアドバイス

- ・背筋を伸ばして椅子に座る
- ・腕帯は素肌の上から、ひじの内側のくぼみから1〜2cm離して、心臓と同じ高さになるように巻く
- ・腕の力を抜く
- ・測定中は話さない
- ・チューブが腕の内側の中心

血圧を上げない生活習慣



- ① 減塩を心掛けよう 1日の塩分摂取量の目標は、男性8g以下、女性7g以下です。みそ汁は具たくさんにする、酸味や辛みを上手に取り入れる、漬物の量や回数を減らすなど工夫しましょう。
- ② 野菜や果物を食べよう 野菜や果物に含まれるカリウムは塩分の排出を助けます。
- ③ 適正体重を保とう BMI
- ④ 軽い運動を続けよう 水泳やウォーキングなどの有酸素運動がおススメです。
- ⑤ お酒は適量で お酒は、日本酒なら1合、ビールなら500mlが1日の適量です（女性や高齢者はその半分）。
- ⑥ 禁煙しよう 喫煙も動脈硬化を進めます。吸わない人も受動喫煙に注意です。
- ⑦ 体は冷やさないように 寒さは血圧の上昇を招きます。特に冬は、暖房や衣服で調節し、寒さから身を守りましょう。

## 戸籍の窓口

(12月受け付け分)

### ■ まちの人口

	1月1日現在	(前月比)
人口	6,558人	(-20人)
男	3,168人	(-6人)
女	3,390人	(-14人)
世帯	2,694世帯	(-4世帯)

### ■ お誕生おめでとう

伊藤 勘真くん	悠太・遙加	堀越
長谷川 吏緒ちゃん	哲也・麻衣	松尾
佐藤 鈴ちゃん	雄二・淳子	出ヶ原

### ■ お悔やみ申し上げます

大沼 ムメ子 (90)	昭吉	母	1町内
佐野 芳一 (88)	孝	父	松尾
齋藤 キヨ子 (90)	研猷	母	尾登
佐藤 市子 (66)	三郎	妻	下小島
清野 ナオ (94)	憲一	母	下小島
雅楽川トヨ子 (85)	寿和	母	宝川
伊藤 由美子 (60)	正市	妻	呼賀
上野 松子 (59)	利春	妻	呼賀
佐藤 公江 (91)	武雄	父	杉山
猪俣 敏男 (85)	博	父	小山



### Dream

## 聞いて！わたしの夢



[3学年・学年副委員長]

### 飯嶋 彩香さん

#### ◆私の夢—

まだ具体的な職種までは決まっていますが、私は将来、得意な英語を生かした職業に就きたいと考えています。これまでは、周りの人に「英語に関わる仕事を目指してみたら？」と言われても、自分の英語に自信が持てずにいました。しかし、中学校に入学し、英検準2級の取得や、英語弁論大会への出場をきっかけに、だんだんと自信が持てるようになりました。

#### ◆努力していること—

自分の夢にたどり着くためには、かなりの英語力が必要だと考えています。なので、日頃の授業への取り組みや、家での予習に力を入れています。さらに、英語だけでなく、他の教科も重要になってくると思うので、しっかりと先生の話聞くようにしています。

#### ◆未来の自分に一言—

夢の実現に向けて一日一日努力していますか。どんなことも諦めずに、自分らしく、一歩ずつ進んでください。それから、くれぐれも体には気を付けてください。

### Person

## 町民バトンタッチ

伊藤 徳裕さん [呼賀]

#### ◆趣味は？

食べ歩き

#### ◆自分を一言で表現すると？

優柔不断

#### ◆最近感動したことは？

「お取り寄せ」したお肉の  
おいしさと柔らかさ

#### ◆あなたのモットーは？

穏やかな生活

#### ◆特技は？

格闘ゲーム

#### ◆熱中していることは？

麻雀

#### ◆今後やってみたいことは？

全自動卓での麻雀と、一人でのソバ打ち

#### ◆次の方を紹介してください

T・Sさん (柴崎)



### 大切なものは？

高校時代のサッカー部のユニフォーム。人生で一番サッカーにのめり込んでいた時期で、大した成績は残せませんでした。努力したい思い出です。



星 和樹さん(1月号) から

今年もよろしくお  
願います。これか  
らもお互い頑張って  
いきましょう。



### Gallery

## 町民ギャラリー

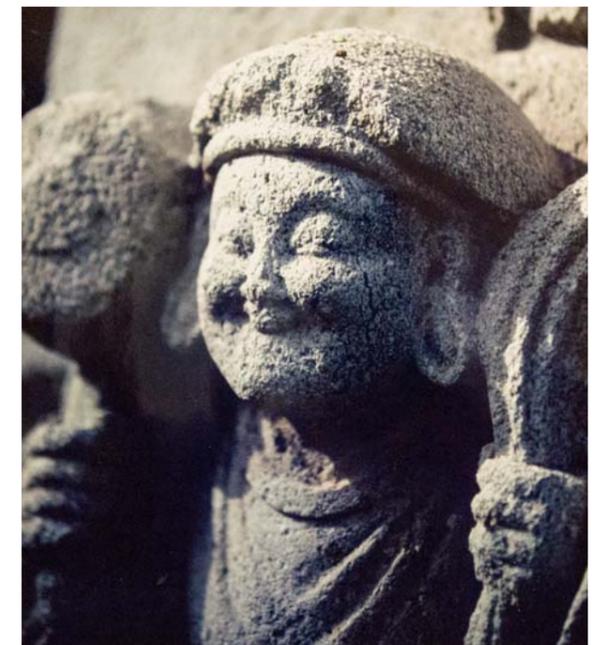


今月は、フォトクラブどんぐり・武藤さんの作品です。

武藤 喜平さん

#### ◆作品名 ほほえみ

◆作品介绍 石像の穏やかな表情に惹かれて撮影しました。とても素敵な表情なので、彫った人も心豊かで穏やかな人だったのだらうと思いを巡らせています。この写真を見ると心が癒やされます。



地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

# にしあいづ物語100選 その10

文：岩橋 義平さん

## 中町の地蔵講 (お地蔵様を当番宅にお迎えし祀る)

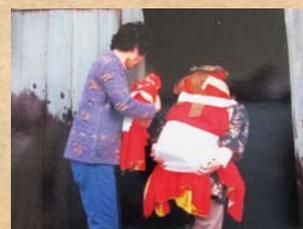
その昔、ある村人の夢枕にお地蔵様が現れ「川に沈んでいる私をすくい上げてほしい」と告げられました。驚いた村人が翌朝急いで川に行ってみると、清らかな流れの中に親子と思われる二つの石のお地蔵様がありました。村人はそのお地蔵様をわが家へお連れし、堂宇を建て大切にお祀りしたのです。あるとき、お地蔵様から「私は延命地蔵である」とのお告げがありました。噂はあっという間に広まり、村人はもちろん、周辺からお参りする人も増えていったそうです。

それから数十年後、この地蔵様をお祀りしていた甚三郎という人は、傷んできた堂宇を建て替えようと決め、村の人や近在の人たちに協力を呼び掛けました。そうして堂宇が立派に完成し、二体のお地蔵様が現在の場所に安置されたのでした。

これを機に、村の人たちは“講”を結び、信仰を守り続けることにしました。講は、毎年3月24日と8月24日を縁日としています。古くは5つの組回りでした。当番が身を清めて御堂に行き、お地蔵様を背負い自宅にお連れすると、やがて組の人たちと次の当番の組の人たちが集まります。集まるのは女性だけです。女性たちはご詠歌を歌い、お地蔵様と一緒にごちそうを食べます。そして、ひとときお地蔵様と過ごした後、次の当番に当たる人が再びお地蔵様を背負い、また御堂にお送ります。このとき、「いっぱいごちそうになられたから、なんと重くなられたこと」と言うのが習わしになっています。また、子どものお地蔵様を抱けば子宝に恵まれるとも伝えられ、今も村人によって信仰が守り続けられています。現在は集会所で縁日をお祀りしています。



↑当番の家でお地蔵様をお祀りする様子



↑次の当番がお地蔵様を御堂にお送ります



### 今月の表紙

今月の表紙は、車麩ラスクのお土産用パッケージです。このパッケージは、上野尻在住のグラフィックデザイナー・榎崎萌々恵さんとウイリアム・シャムさんが高校生のアイデアをもとにデザインしました。

### 編集後記

西高魅力発信隊の活動を追った今回の特集。高校生たちから伝わるワクワク感と町の未来を真剣に考える姿、そして活動を支える皆さんの熱い思いに心を打たれました。こうした活動があるというだけで、高校生たちの地元に対する考え方も変わってくるでしょうし、何かを形にしたという経験は、社会で生き抜く糧になると思います。仲間と協力すること、力を合わせて何かを成し遂げることは、勉強だけでは味わえない大切な経験です。

情報政策係 長谷川祐一